



2014年1月16日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2013年12月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	12月度	9～12月度累計
百貨店事業	0.7 (3.2)注2	▲0.4 (2.2)注2
パルコ事業	0.7	▲0.7
卸売事業	▲17.7	▲7.8
クレジット事業	19.1	14.7
その他事業	1.3	3.9
連結合計	▲7.0	▲8.0
(除くスーパーマーケット事業)	▲0.1注1	▲0.4注1

注1: 2013年3月度からスーパーマーケット事業を除外しました。前年の連結合計からスーパーマーケット事業を除いた12月度の対前年増減率は▲0.1%減、9～12月度累計の対前年増減率は▲0.4%減となります。

注2: 百貨店事業の()内は、大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・12月度の百貨店事業の売上高は、土曜日が対前年▲1日減であったものの、婦人・紳士ともにコートが好調に推移し、ラグジュアリーブランドやアクセサリ、宝飾品もクリスマス商戦で好調に売上を伸ばしたほか、お歳暮ギフトも堅調であったことなどから、大丸松坂屋百貨店では対前年3.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同3.2%増となった。

2) パルコ事業

- ・クリスマスギフトや冬物購入需要の高まりに合わせた販促に加え、自社カード顧客を対象とした顧客動員企画の実施により、セレクトショップのほかバック、メガネなどの身回品、インテリア雑貨などが好調に推移したことから、パルコ事業全体では対前年0.7%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、包装資材や化学品が売上を伸ばしたものの電子デバイスが苦戦し、対前年▲17.7%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店お得意様ゴールドカードのクレジットカード化に伴う手数料収入の大幅な増加が寄与し、対前年19.1%増となった。
- ・その他事業は、大丸神戸店周辺店舗の改装工事や、グループ外の内装工事の売上計上により大幅増となったJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2013年12月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	12月度		9～12月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲1.2	▲4.0	1.8	▲2.9
大丸 梅田店	6.6	1.0	▲0.8	▲4.0
大丸 東京店	8.0	2.0	2.7	▲7.1
大丸 浦和パルコ店	1.5	3.2	2.0	3.3
大丸 京都店	1.3	▲0.1	▲0.0	▲2.6
大丸 山科店	▲2.6	▲0.1	▲1.6	▲0.7
大丸 神戸店	3.3	▲5.4	2.3	▲6.0
大丸 須磨店	5.0	▲1.0	4.9	1.2
大丸 芦屋店	0.5	0.1	0.9	0.3
大丸 札幌店	5.1	0.2	4.2	0.3
松坂屋 名古屋店	6.5	9.1	6.8	5.7
松坂屋 上野店	1.8	1.8	0.8	2.0
松坂屋 静岡店	4.5	7.4	2.9	2.7
松坂屋 高槻店	▲2.2	1.6	▲2.2	1.6
松坂屋 豊田店	▲0.1	3.8	▲0.8	2.1
大丸松坂屋百貨店合計	3.6	0.9	2.5	▲2.0
博多大丸	1.4	▲0.4	0.4	▲1.4
下関大丸	▲0.2	▲2.0	▲1.8	▲2.2
高知大丸	▲1.5	▲2.1	▲1.2	▲2.1
百貨店事業合計	3.2	0.7	2.2	▲2.0

(注)・合計は、大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。
 ・前年に上記3店舗を含めた12月度の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 0.7%増、百貨店事業合計 0.7%増、9～12月度累計の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計▲0.4%減、百貨店事業合計▲0.4%減となります。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	12月度	9～12月度累計
紳士服・洋品	▲1.3	▲0.6
婦人服・洋品	6.2	2.7
子供服・洋品	12.3	8.9
その他の衣料品	▲1.6	2.7
衣料品計	4.7	2.4
身 回 品	7.6	4.6
化粧品	2.5	0.7
美術・宝飾・貴金属	23.3	23.0
その他雑貨	▲4.1	3.4
雑 貨 計	12.1	11.3
家 具	15.6	14.6
家 電	▲18.0	▲13.3
その他の家庭用品	11.7	4.0
家庭用品計	11.0	5.4
生 鮮	▲3.5	▲2.6
菓 子	3.8	1.9
惣 菜	1.0	0.2
その他食料品	1.4	2.1
食料品計	0.8	0.6
食堂・喫茶	▲0.2	▲3.2
サービス	25.8	20.2
そ の 他	▲18.9	▲13.0
合 計	3.6	2.5

(注)・大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

3. 売上高概況

・婦人服・洋品は、コート、ニット、マフラーなど冬物アイテムが好調であったほか、ラグジュアリーブランドも大幅に売上を伸ばした。紳士服・洋品は、衣料品、洋品雑貨ともに売上を伸ばしたものの、前年に開催した大型催事の反動によりマイナスとなった。身回品は、婦人ブーツや、クリスマス商戦が盛況であったアクセサリが売上を伸ばした。雑貨は、時計宝飾品が好調を持続した。食料品は、前年6月に食品フロアを改装グランドオープンした名古屋店が牽引した。